

100歳おめでとうございます

5月に満100歳を迎えた増元隆志さんに、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



増元 隆志さん
大正6年5月15日生

住民の安心・安全を守る 合志市消防団春季訓練

5月7日、中央運動公園グラウンドで市消防団春季訓練を行ない、団長をはじめ全15分団から433人の消防団員が参加しました。この訓練は、火災や地震など有事の際に備え、団員の規律ある行動と、安全で的確、迅速な消防活動など、技術の向上を目指して行なっています。

前半は、消防署員の指導のもと、分団ごとに消防団員としての基本動作を身に付ける規律訓練を実施。また、姿勢や整列の揃い、服装の点検、分列行進の訓練などを確認する通常点検を行ないました。

後半は、前回優勝の本部機動班による小型ポンプ操法を行ないました。指揮者の大きな掛け声で操作を開始。選手たちは無駄のない機敏な動きで模範演技を披露しました。演技後には消防署員が6月11日にある操法大会に向けた指導を全分団に行ないました。

団員は、操法訓練を通して機械器具類の操作を習得し、迅速かつ安全に消火活動を行なえるよう、日ごろから訓練を重ねています。

地球温暖化防止に役立ててほしい クラッシーノこうしがレジ袋の収益を寄付

4月28日、一般社団法人クラッシーノこうしがレジ袋販売の収益金を市に寄附しました。クラッシーノこうしがレジ袋削減のため、平成24年12月から袋の有料化を実施。今回はその収益の一部を贈りました。

贈呈式で「市の環境施策の推進に役立ててほしい」とあいさつした賀久清豪事務局長。「今後も買い物客のマイバッグ持参率向上に取り組み、レジ袋ごみを減らして地球温暖化防止に貢献したい」と話していました。



荒木市長（左）と賀久事務局長（右）



①通常点検の様子 ②中川団長による訓辞 ③本部機動班による模範演技

ビジネスマナーの基礎を学ぶ 新入社員合同研修会

4月12日、合志庁舎で、市と商工会の共催による第6回合志市内中小企業等新入社員合同研修会が開催され、市内中小企業の新入社員や市の新規採用職員など26人が地域経済の現状と見通しやビジネスマナーを学びました。

受講者からは「時代の流れをつかみ、対応することの重要性を実感した」「自分の未熟さを痛感した」という声があがり、新社会人として気を引き締めていました。



これから新社会人としてがんばります

生涯学習で人生を華やかに コミュニティ定期講座合同開講式

4月1日、御代志市民センターで、合生・須屋・黒石・中央・野々島の各コミュニティで開催される定期講座の合同開講式がありました。

約160講座の講師とその講座生約400人が一同に会し、講師と講座生の代表がそれぞれ定期講座への意気込みや思いを述べました。アトラクションではYMCAわいわい歌声の皆さんによるミニコンサートが開かれ、開講式に華を添えました。



ミニコンサートで歌っている来場者の皆さん

熊本地震から1年 経験を生かし備える 合志市防災のつどい

4月16日、御代志市民センターで合志市防災のつどいを開催しました。約400人が参加し、熊本地震による犠牲者に黙とうを捧げました。

会場では震災当時の状況を撮影した写真パネルの展示やスライド上映が行なわれ、1年前を思い出し涙する人もいました。防災講演では、「人と防災未来センター」の中林啓修さんが講演。参加者は地域の助け合いの大切さ、備えの大切さをあらためて学びました。

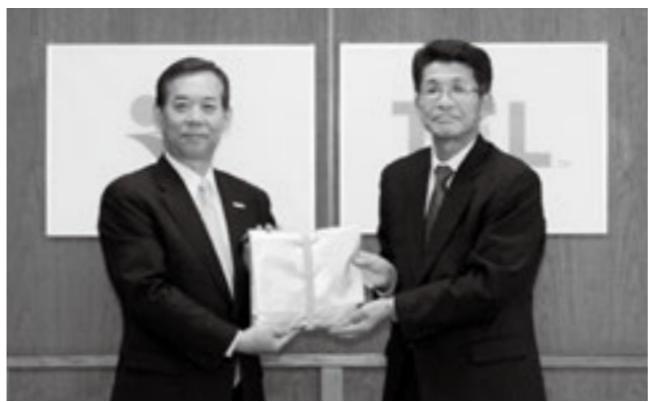


被災写真に見る参加者

未来を担う子どもたちへ 東京エレクトロンが防災頭巾を贈呈

4月19日、東京エレクトロン九州株式会社の萩尾一雄副社長が市長を訪問し、防災頭巾4,650枚を贈呈しました。同社は熊本地震からの復興のため、次世代を担う子どもたちの防災に役立ててほしいと今回の寄贈を企画しました。

防災頭巾は市内各小学校を通じて配布し、子どもたちの身を守るために、災害時や防災訓練などで活用される予定です。



子どもたちの安心安全のために活用します